
令和7年度 北海道開発予算等概算要望

－ 札幌市 －



札幌市における社会資本整備・地域課題等の現状

現状① 都心の土地利用とGXの推進

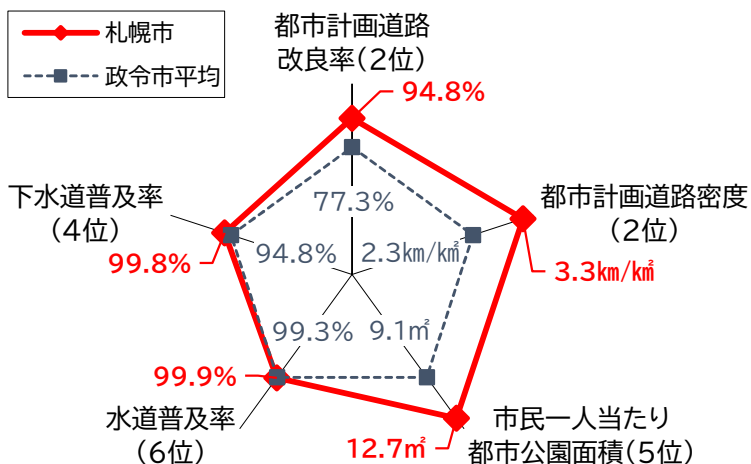
- 都心の魅力や価値の向上をけん引していくため、北海道新幹線の札幌延伸・開業、民間施設の建替え動向を見据え、**都心にふさわしい土地の高度利用と都市機能の更新を図る必要がある。**
- 2024年6月には「金融・資産運用特区」への指定が発表されたことを踏まえ、**グリーン電力としての水素利活用**の取組などを推進することにより、「日本の再生可能エネルギー供給基地」と世界中からGXに関する資金・人材・情報が集積する「アジア・世界の金融センター」の実現を目指す。



現状② 社会基盤の老朽化

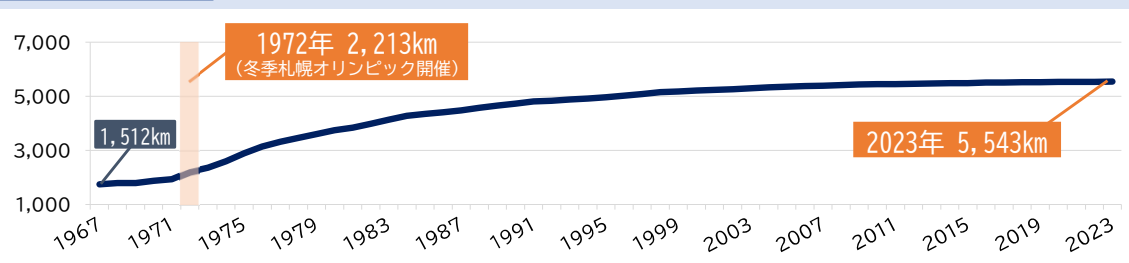
- 1972年の冬季オリンピック開催、政令指定都市への移行を契機に急速に都市基盤の整備を進め、整備水準は極めて高いが、道路や橋梁、下水処理施設、清掃工場などの**社会基盤が老朽化し、大規模修繕や更新が必要。**

主な社会資本の整備状況 政令市の中でも高い水準

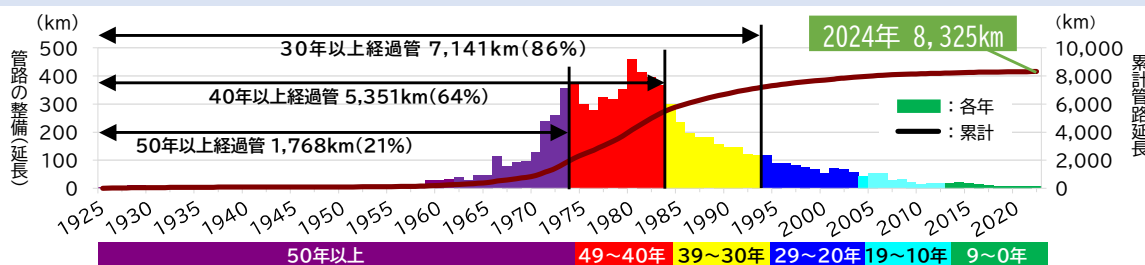


注：()内の数値は政令指定都市(令和4年における全国20市)内の順位
 都市計画道路改良率=整備済延長/計画延長
 <資料> 大都市比較統計年表(大都市統計協議会(令和4年))
 都市計画現況調査(国土交通省令和4年調査結果)

道路管理延長 1972年以降、急速に整備した道路の老朽化に対し適切な対応が必要



下水道施設整備状況 今後、標準耐用年数(50年)を経過する管路が大幅に増加



札幌市における社会資本整備・地域課題等の現状

現状③ 共生社会の推進

- 2040年代に高齢者人口が全体の約4割を占めピークを迎えることが予想されているほか、障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合は約3割と低い割合で推移。
- 誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる環境を整えるため、更なるバリアフリー化やユニバーサルデザイン導入の推進が必要



現状④ 自然災害リスク

- 雪による交通渋滞に伴う都市機能の停滞はもとより、大規模な地震による社会基盤等への被害、集中豪雨による浸水被害など、備えておくべき自然災害リスクが増加。



I 持続可能な世界都市・さっぽろの実現

- 10年間のまちづくりの基本的な指針 **第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン** に掲げる目指すべき都市像を実現するため、同ビジョン中の基本目標に対応する事業を計上

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ① 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち | ④ 世界に冠たる環境都市 |
| ② 日常の安全が保たれたまち | ⑤ 生活しやすく住みよいまち |
| ③ 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち | ⑥ コンパクトで人にやさしい快適なまち |

II 災害に強い都市の構築の具現化

- 国土強靱化地域計画として策定した **札幌市強靱化計画** に基づき、大規模自然災害に対する備えとして、平時にも活用できる社会資本の充実強化などに資する事業を計上
- **第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン** に掲げる「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」、「都市基盤を適切に維持、更新し、最大限利用するまち」の実現を目指す

脆弱性評価を踏まえた施策プログラム ① 人命の保護 ② ライフラインの確保

上記を踏まえ、**脱炭素社会の実現に向けた取組、都市の魅力向上、都市基盤の計画的な維持修繕や更新、移動環境等のバリアフリー化**などを重点的に推進していく

北海道開発予算等 主要要望事業

市街地再開発事業【社:6,020百万円】

国内外から多くの来街者やビジネス機会、人材、投資などを誘引し、札幌のビジネス・観光の国際競争力を高めるため、高機能オフィスの整備や国際水準のハイグレードホテルを誘致するとともに、脱炭素化に資する機能を整備することにより、札幌の魅力や価値を国内外に発信する拠点を形成する。



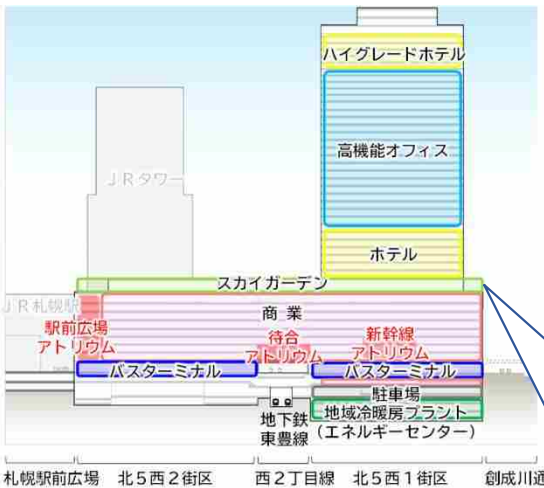
北5西1・西2地区
【社:1,941百万円】



北4西3地区
【社:2,732百万円】



大通西4南地区
【社:1,347百万円】



北5西1・西2地区市街地再開発事業

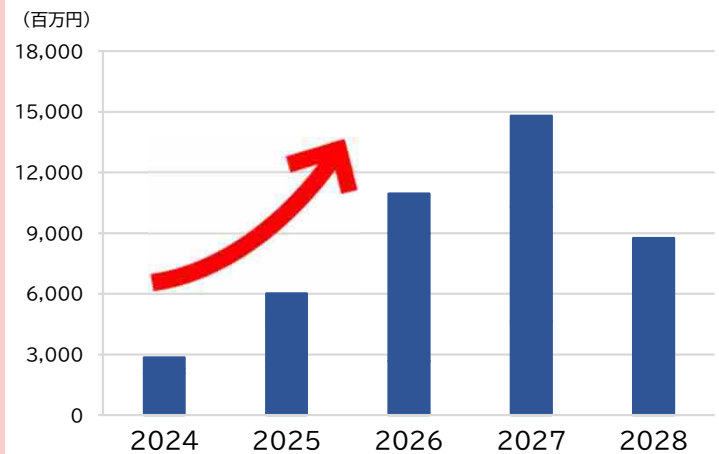
当地区においては、市街地再開発事業に合わせて、以下の取組が行われる予定。

- ◆ 環境配慮技術の活用等に対応した**コージェネレーションシステム・地域冷暖房プラントの整備**
 ≪脱炭素先行地域関連≫
- ◆ **高機能オフィスの整備** 及び **燃料電池の導入検討**
 ≪GX金融・資産運用特区関連≫
- ◆ **新しいバスターミナルの整備**
 - **北5西2地区バスターミナル整備**【社:791百万円】
 ≪国際競争拠点都市整備事業≫
 - **札幌駅交通ターミナル整備** ≪直轄事業≫



今後5年間における事業費（国費）の推移見込 -北5西1・西2地区・北4西3地区・大通西4南地区-

今後、市街地再開発事業3地区の工事が本格化することに伴い、事業費（国費）が大幅に増加する見込み



※事業計画ベース

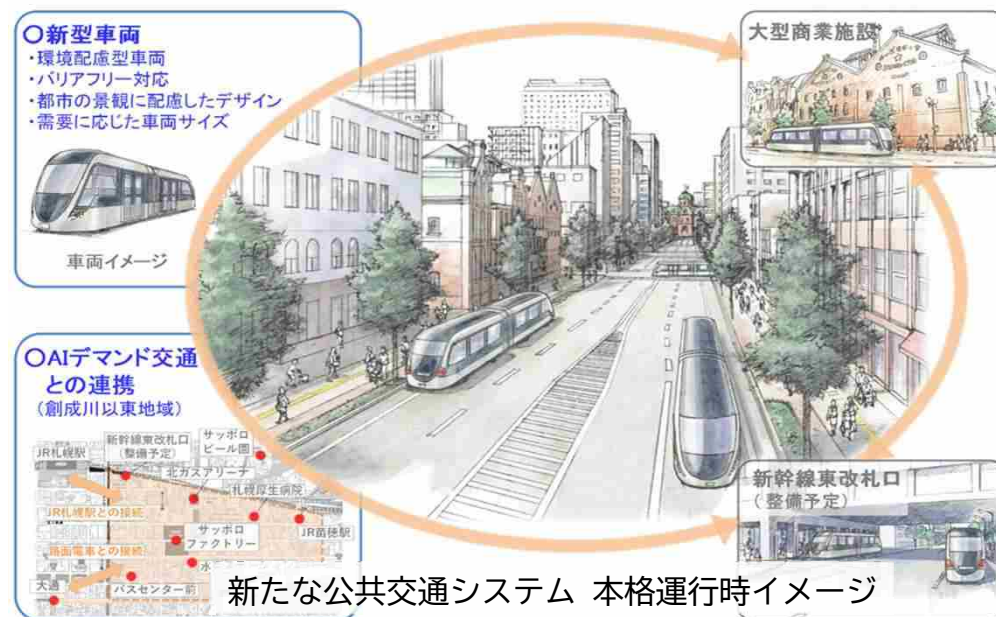
北海道開発予算等 主要要望事業

都市・地域交通戦略推進事業(新たな公共交通システム)【社:153百万円】

金融・資産運用特区の指定を受け、脱炭素の機運が高まる中、水素燃料電池車両の活用による脱炭素社会への貢献や都市部の移動利便性・回遊性の向上に加えて、魅力と賑わいあふれるまちづくりの観点も取り入れながら、**2030年の本格運行を目指す。**

公共交通システム検討事業【社:153百万円】

創成川以東地域における本格運行を目指し、**2025年度に社会実験を実施**



環境衛生事業【社:3,280百万円】

老朽化した現清掃工場を更新することにより、**安定したごみ処理体制を維持する。**

また、**効率的なエネルギー回収システムの導入**により、脱炭素社会に向けて、環境にやさしいエネルギーを安定的に供給するなど、**ごみ焼却エネルギーの更なる活用**を図る。

駒岡清掃工場更新事業【社:3,015百万円】開







2020年度から進めてきた建設工事が完了し、試運転等を実施した後、**2025年度に稼働開始**予定



① 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち

北海道・札幌の国際競争力をけん引する高次の都市機能の集積、魅力あふれる都市空間の創出や人流・環境に配慮した交通整備により、道都札幌の玄関口にふさわしい都心を目指す。

道路・街路事業（地図上  部分）

- [道路]旭山公園米里線【社:12百万円】開
- [道路]北3条線【社:60百万円】開
- [街路]南1条通【社:144百万円】開
- [街路]福住・桑園通【社:432百万円】開
- [街路]西7丁目通【社:216百万円】開
- [街路]東4丁目通【防:30百万円】開

北4西3地区
【社:2,732百万円】
(市街地再開発事業)



大通西4南地区
【社:1,347百万円】
(市街地再開発事業)



北5西1・西2地区
【社:1,941百万円】
(市街地再開発事業)



都市再生緊急整備地域
(札幌都心地域 225ha)

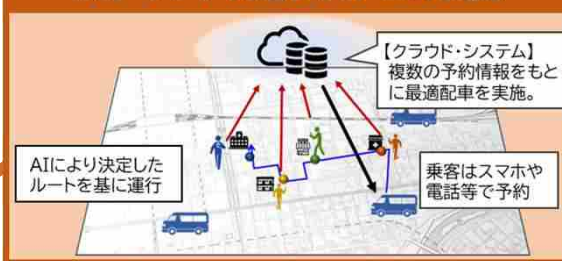
特定都市再生緊急整備地域
(札幌都心地域 145ha)

都市・地域交通戦略推進事業

[新たな公共交通システム]

- 社会実験【社:153百万円】

AIデマンド交通システムの実証



公共交通の脱炭素化に向けた実証





[路面電車]

- 軌道施設の機能充実等【社:960百万円】

軌道施設の機能充実等



凡例 社:社会資本整備総合交付金等 防:防災・安全交付金 開:北海道開発予算 新:新規事業





※計画建物は現時点のイメージであり、今後の協議・検討により変更となる可能性があります。

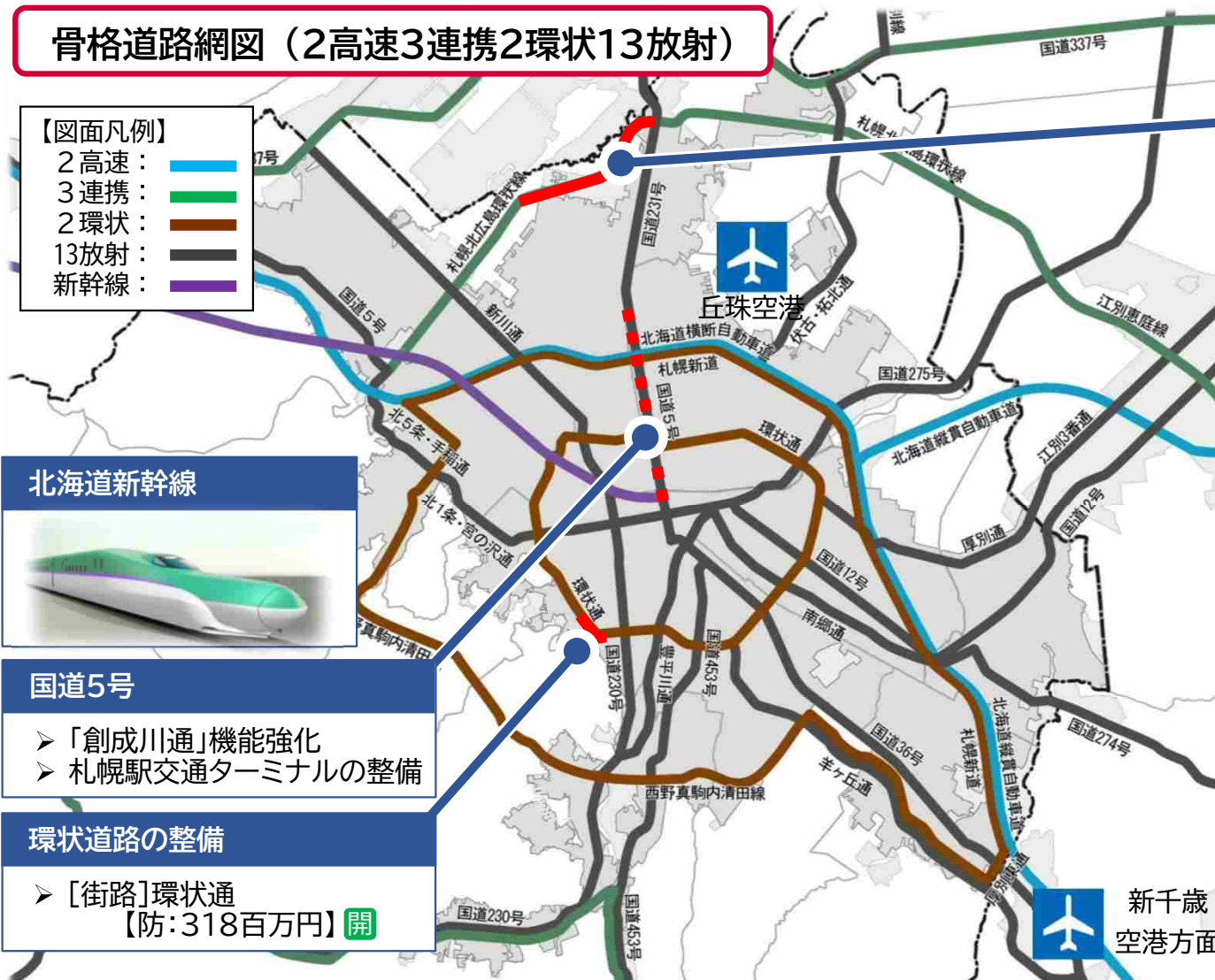
① 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち

北海道新幹線札幌延伸を見据えた都心へのアクセス向上や都市間・地域間連携や空港・港湾との連携強化のため、国等の関係機関と連携のもと、人流・物流を支える放射・環状の骨格道路網の機能強化等を推進。

骨格道路網図（2高速3連携2環状13放射）

【図面凡例】

- 2 高速： 
- 3 連携： 
- 2 環状： 
- 13放射： 
- 新幹線： 



北海道新幹線



国道5号

- 「創成川通」機能強化
- 札幌駅交通ターミナルの整備

環状道路の整備

- [街路]環状通
【防：318百万円】開

凡例 社：社会資本整備総合交付金等 防：防災・安全交付金 開：北海道開発予算 新：新規事業

② 日常の安全が保たれたまち

- [道路]自転車通行空間整備事業

【防：180百万円】開

都心部や駅周辺において、路面表示による「自転車の通行位置の明確化」を進める。



整備イメージ

連携道路の整備

- [道路]札幌北広島環状線【社：249百万円】開
- [街路]屯田・茨戸通【防：636百万円】開
- ※2025年度完成予定(供用は2026年予定)

屯田・茨戸通(札幌北広島環状線)整備イメージ



道路・街路交通調査

- 道央圏パーソントリップ調査【社：42百万円】開

2024

2025

2026～

企画・準備

P
T
調査の実施

実態把握・分析

都市交通施策
の検討など

③ 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち

公園内への民間活力の導入や魅力向上に向けた取組を推進。

公園の官民連携推進事業

新 百合が原公園でのPark-PFI導入
【社:44百万円】開



厚別山本公園

埋立完了後の最終処分場(約52ha)に
大規模公園を整備【社:150百万円】開



公園施設長寿命化対策支援事業

老朽化に伴う公園施設の更新、現行の安全基準に対応
するため改修(工事 14カ所)【防: 311百万円】開

都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

老朽化に伴う公園施設の更新に合わせて、バリアフリー
化を実施(工事 7カ所)【防: 181百万円】開

都市公園ストック再編事業

地域ニーズに対応しながら、身近な公園の機能分担による
再整備を実施(市内 41カ所)【社:814百万円】開



④ 世界に冠たる環境都市

脱炭素社会の実現に向け、環境にやさしいエネルギーの安定供給やエネルギー・資源の有効活用。

清掃、破碎工場更新事業

- 駒岡清掃工場更新事業【社:3,015百万円】開
- 駒岡清掃工場解体事業【社:5百万円】開
- 発寒清掃工場更新事業【社:14百万円】開
- 白石破碎工場更新事業【社:160百万円】開
- 東米里西処理場造成事業【社:3百万円】開
- 篠路リサイクル保管庫建設事業【社:3百万円】開
- (仮称)北部事業予定地一般廃棄物
最終処分場造成事業 【社:77百万円】開



下水道エネルギー・資源の有効活用

東部水再生プラザの処理水がもつ熱エネルギーを利用した融雪槽を整備。[2025年度完成](#)予定。
【防:11百万円】開

凡例

社：社会資本整備総合交付金等
防：防災・安全交付金

開：北海道開発予算
新：新規事業

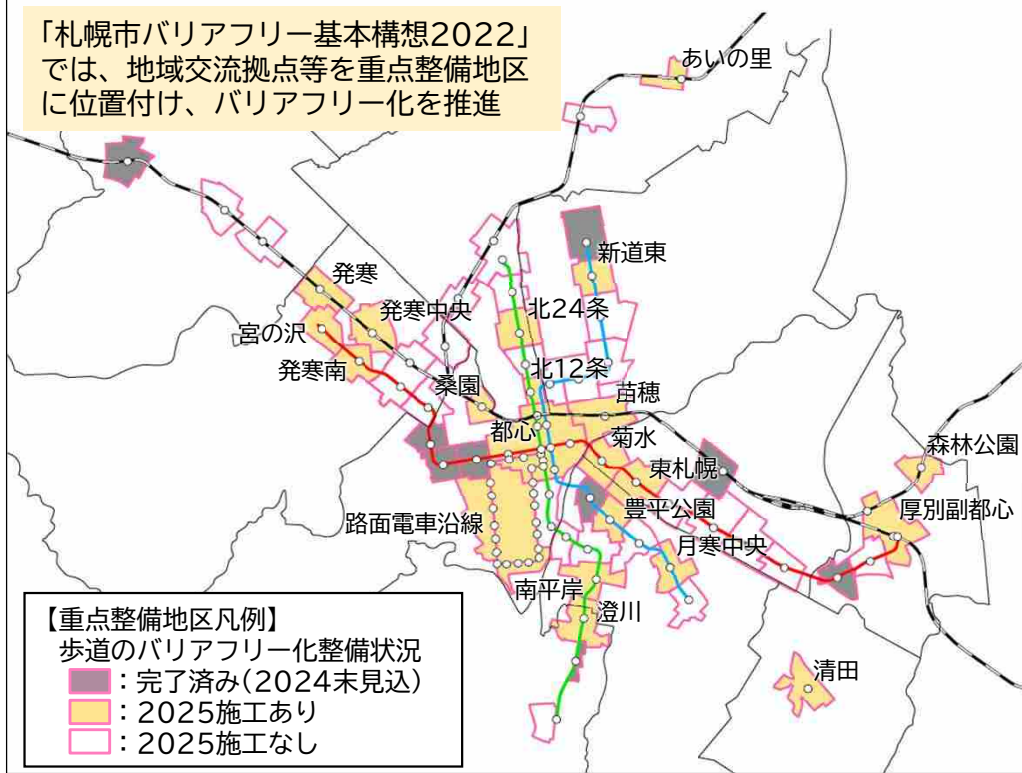
⑤ 生活しやすく住みよいまち

市民・事業者・行政が一体となって共生社会の実現を目指し、全ての人の利便性の向上に向けたまちづくりを進めていく。

バリアフリー関係事業

- 公共施設バリアフリー化推進事業【社:102百万円】開
- 民間公共的施設バリアフリー補助事業【社:9百万円】開
- 宿泊施設バリアフリー化推進事業【社:35百万円】開
- [道路]交通安全施設等整備事業(歩道のバリアフリー化)
【防:1,080百万円】開

「札幌市バリアフリー基本構想2022」では、地域交流拠点等を重点整備地区に位置付け、バリアフリー化を推進



凡例 社: 社会資本整備総合交付金等 開: 北海道開発予算
防: 防災・安全交付金 新: 新規事業

⑥ コンパクトで人にやさしい快適なまち

鉄道高架化、周辺道路整備、土地区画整理を一体的に進め、鉄道による市街地分断、慢性的な交通渋滞といった地域課題の解決を図る。

篠路駅周辺地区まちづくり推進事業

- [街路]JR札幌線(篠路駅付近)連続立体交差事業【社:18百万円】開
- [道路]花畔札幌線【社:60百万円】開
- [街路]横新道【社:156百万円】開
- 篠路駅東口土地区画整理事業【社:145百万円】開
【社:93百万円】



札幌市強靱化計画 施策プログラム ① 人命の保護

地震などによる建築物等の大規模倒壊への対策

耐震性が不足している公共施設の耐震化を推進するほか、民間建築物に対しても耐震診断や改修工事等への補助を行うなど、所有者の耐震化への取組を支援する。

また、盛土造成地の安定性評価及び対策工事などを進める。

- 公営住宅等整備事業【社:2,273百万円】**開**
【防:1,076百万円】**開**
- 民間建築物耐震化促進事業【防:53百万円】**開**
- 市有建築物特定天井対策事業【防:3百万円】**開**
- 大規模盛土造成地滑動崩落防止事業【防:6百万円】
- 大規模盛土造成地変動予測調査事業【防:19百万円】

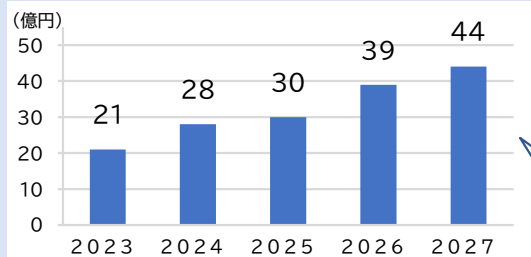
新 既存盛土等調査事業【防:14百万円】

2023年5月に施行された通称「盛土規制法」に基づき、市内に存在する既存盛土について、分布調査や安全性把握の優先度調査などの基礎調査を実施する。

公営住宅等整備事業

- ◆ 美香保団地建替事業【社:513百万円】**開**
- ◆ 発寒団地建替事業【社:436百万円】**開**
- ◆ 伏古団地建替事業【社:314百万円】**開**
- ◆ 月寒団地建替事業【社:235百万円】**開**
- ◆ 光星団地改善事業【社:334百万円】**開**

月寒団地整備イメージ



事業費(国費)の推移見込

今後、多数の市営住宅が更新時期を迎えることから、さらに事業費(国費)が増大していく見込みである。

異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水への対策

大雨による浸水被害の軽減のため、河川の改修や流域貯留施設整備、雨水拡充管の整備など、効率的・効果的な雨水対策を進める。

- 総合流域防災事業【防:232百万円】**開**
(北郷川・厚別西川・新川西川・三里川)
- 伏籠川流域貯留浸透事業【防:69百万円】**開**
- 災害に強い下水道の構築事業(P.11参照)

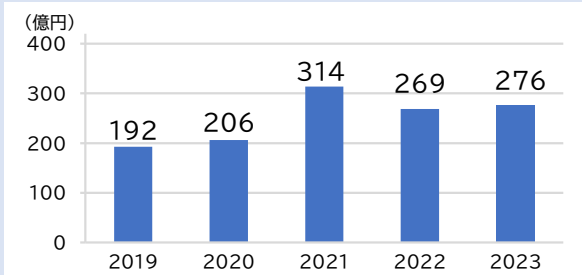
暴風雪及び豪雪による交通途絶等への対策

安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現に向け、除雪水準に基づく適切な除排雪を推進するとともに、除雪機械の計画的な更新・増強、ロードヒーティングなどの雪対策施設の適切な改修を推進する。

- 除雪事業等【防:1,274百万円】**開** ※道道除雪、除雪機械(更新)
【防:3,534百万円】 ※市道除雪、除雪機械(増強)等

除雪費の推移

都市機能の維持には、大雪時においても円滑な道路交通を確保するための除排雪が不可欠。一方で、労務費・機械損料の高騰により、除雪費が年々増加傾向。



凡例

社：社会資本整備総合交付金等

開：北海道開発予算

防：防災・安全交付金

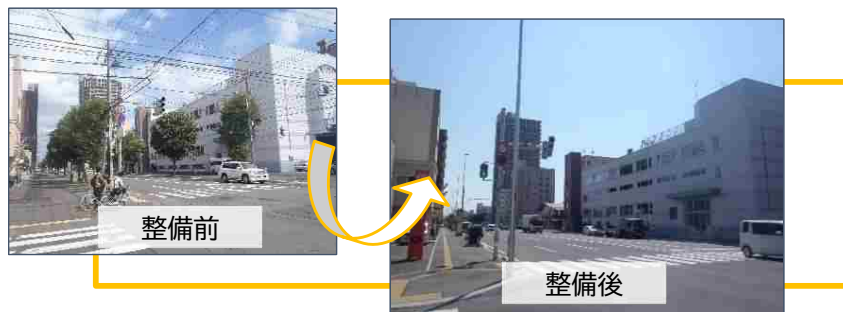
新：新規事業

札幌市強靱化計画 施策プログラム ② ライフラインの確保

基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止への対策

道路施設の防災対策として、緊急輸送道路等の無電柱化を進めるほか、安心して通行できる道路環境を整備するため、道路等の交通施設のバリアフリー化や幹線道路等の交通事故対策などを実施する。

- [道路]無電柱化推進事業(電線共同溝整備)【社:375百万円】開
- [街路]無電柱化推進事業(電線共同溝整備)【社:936百万円】開



- [道路]交通安全施設等整備事業(歩道のバリアフリー化)(P.9参照)
- [道路]交通安全施設等整備事業(事故対策)【防:60百万円】開
- [道路]横断歩道橋補修事業【社:184百万円】開
- [道路]道路施設点検(橋りょう、トンネル、門型標識等)【社:115百万円】開
- [道路]小規模付属物点検調査及び修繕事業(街路灯・標識)【防:414百万円】開
- [道路]橋りょう耐震補強事業【防:96百万円】開



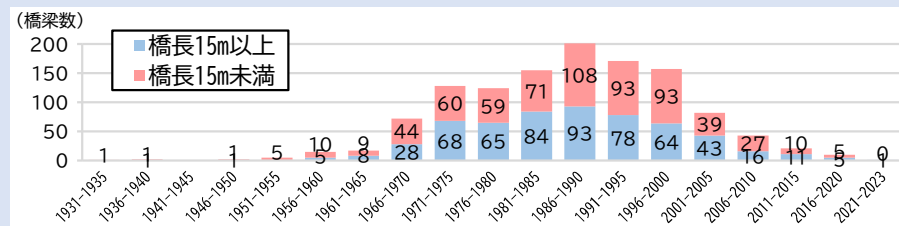
上下水道等の長期間にわたる機能停止への対策

上下水道については、地震発生時における機能停止等を防ぐため、各種施設や管路の計画的な改築や耐震化等を進めるほか、創成川通周辺地区における浸水対策等を進める。

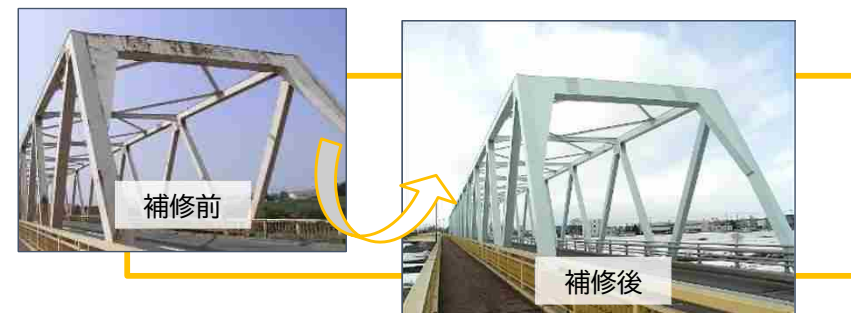
- 豊平川水道水源水質保全事業【社:60百万円】開
- 第2期水道施設耐震化事業【防:4百万円】開
- 下水道施設の再構築事業【社:2,117百万円】開
【防:3,732百万円】開
- 災害に強い下水道の構築事業【社:276百万円】開
【防:159百万円】開

架設年別橋りょう数

今後50年を経過した橋りょうが急増するため、計画的な保全が必要



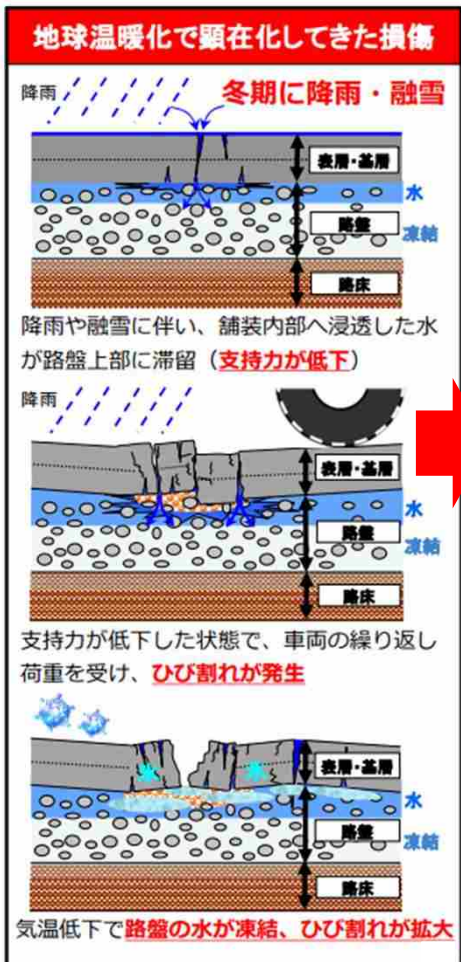
- [道路]橋りょう長寿命化修繕事業【社:978百万円】開



関連要望：近年の異常な天然現象による積雪寒冷地特有の舗装損傷に対応するための制度の創設や財政支援の充実・強化について（要望）

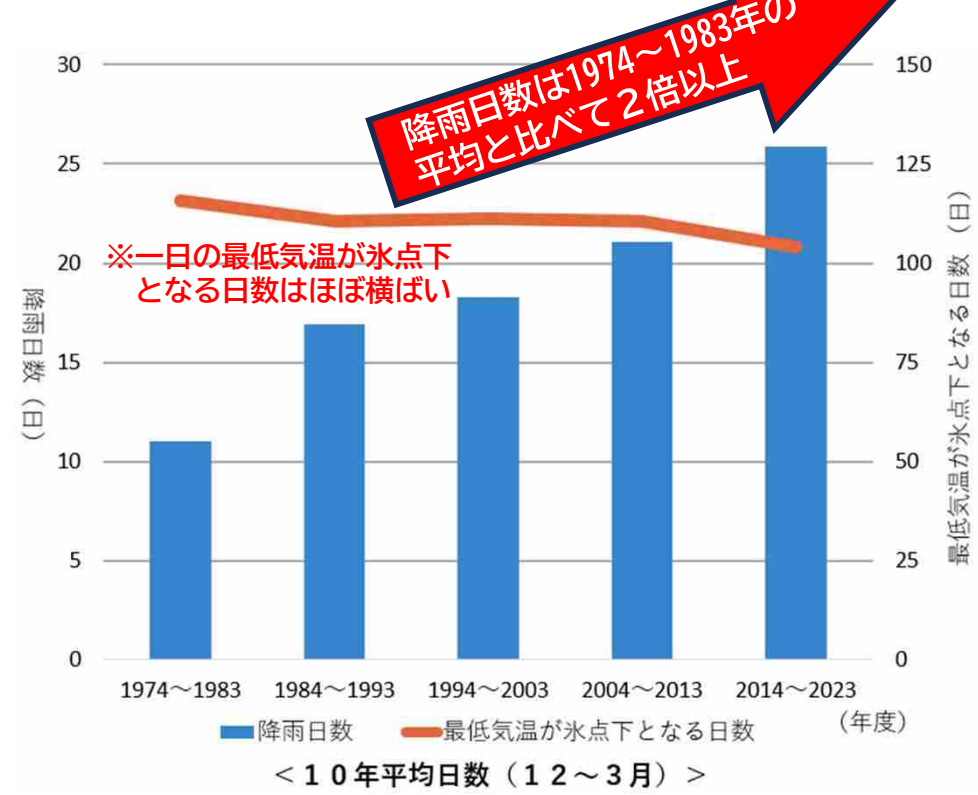
- ・近年の地球温暖化により、冬でも降雨・融雪が繰り返され、積雪寒冷地特有の凍結融解が発生しやすくなってきている。
- ・かつて、冬期の降雨・融雪の現象は少なかったが、近年はその現象が多発するようになってきている。
- ・本市でも冬期（12～3月）の降雨日数が50年前と比べて2倍以上となっている。一方で、一日の最低気温が氷点下となる日数はほぼ横ばいであることから、凍結融解による舗装損傷が目立つようになってきている。
- ・そのため、積雪寒冷地特有の舗装損傷に対応する費用についての新たな制度の創設や財政支援の充実・強化をお願いする。

【冬期の舗装損傷メカニズム】



凍結融解による舗装損傷状況

【冬（12月～3月）の降雨日数の変化】



地球温暖化の影響によるポットホール等の増加によって、融雪期の補修費用が増加していく見通し

出典：第2回 積雪寒冷地域における道路舗装の損傷に関する有識者会議資料

令和7年度北海道開発予算等
主な事業の要望箇所図

都心における主要事業

【市街地再開発】北5西1・西2地区

【市街地再開発】北4西3地区

【市街地再開発】大通西4南地区

【道路】北3条線

【街路】東4丁目通

【街路】南1条通

【公営住宅】美香保団地

【公営住宅】伏古団地

【公営住宅】光星団地

【公営住宅】月寒団地

【下水道】創成川通周辺地区における浸水対策等

【下水道】東部融雪槽

【公園】厚別山本公園

【河川】北郷川 総合流域防災事業

【河川】厚別西川 総合流域防災事業

【河川】三里川 総合流域防災事業

【水道】第2期水道施設耐震化(硬石山配水池)

【水道】豊平川水道水源水質保全

【環境衛生】駒岡清掃工場更新

【環境衛生】篠路サイクル保管庫

【都市公園】公園の官民連携推進事業(百合が原公園)

【区画整理】篠路駅東口地区

【街路】JR札沼線(篠路駅付近)連続立体交差事業

【道路】花畔札幌線

【街路】横新道

【街路】環状通

【街路】屯田・茨戸通

【道路】札幌北広島環状線

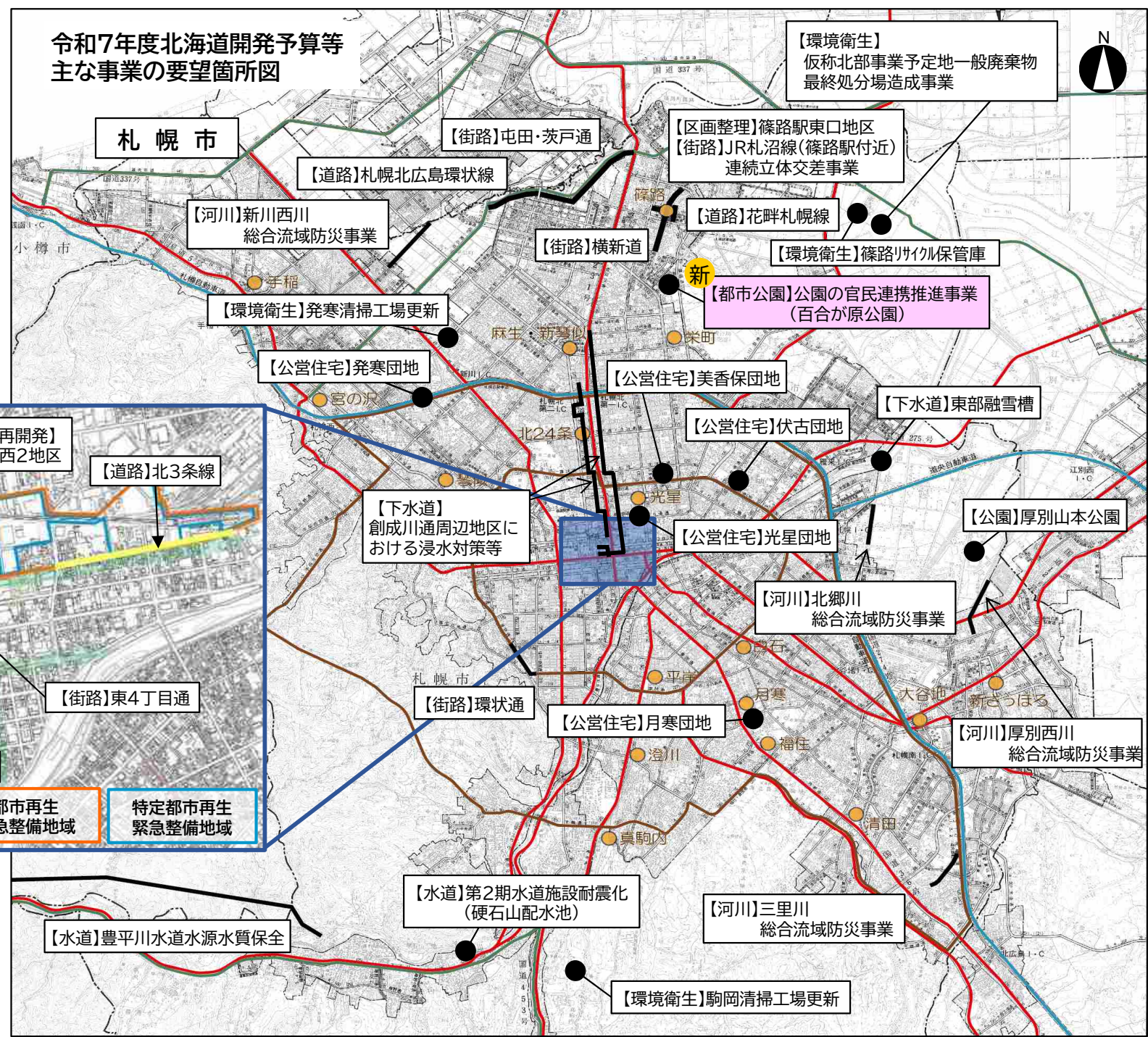
【河川】新川西川 総合流域防災事業

【環境衛生】発寒清掃工場更新

【公営住宅】発寒団地

【環境衛生】仮称北部事業予定地一般廃棄物最終処分場造成事業

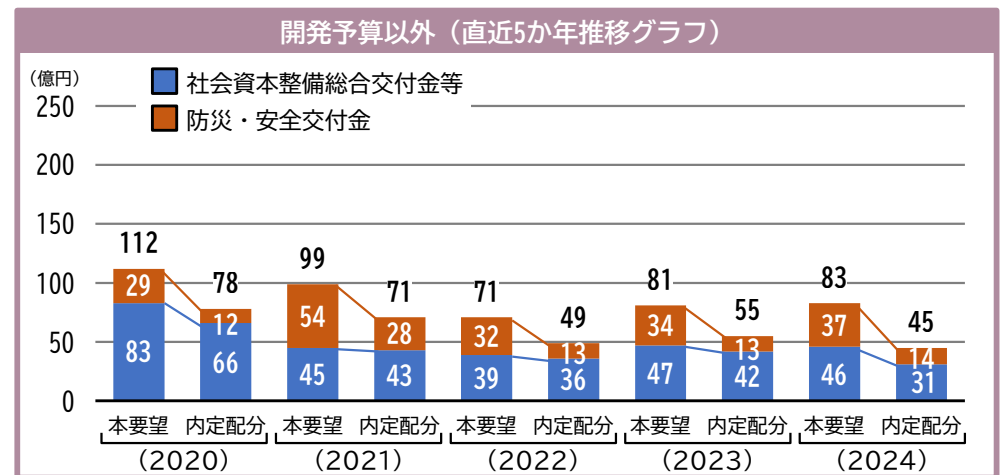
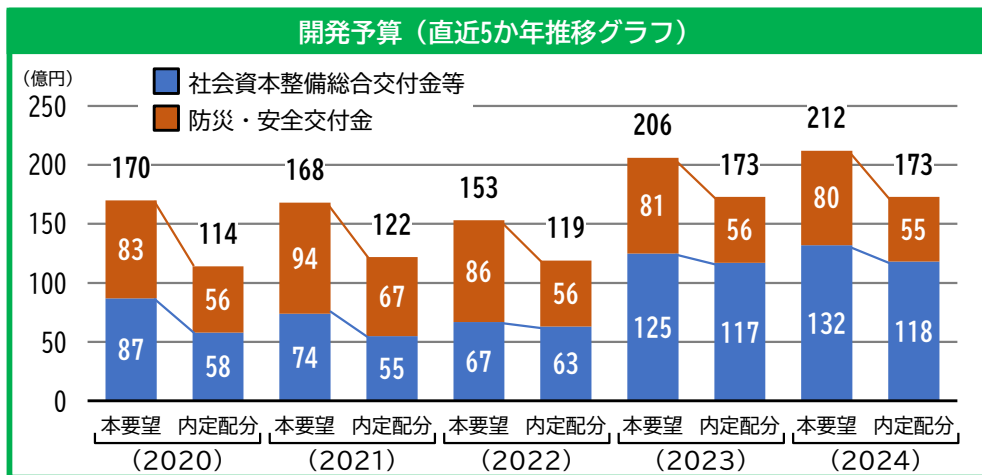
- 凡例
- 北海道開発予算等事業箇所
 - 高速交通体系(高速道路等)
 - 連携道路
 - 環状道路
 - 放射道路
 - 地域交流拠点



	2024年度 本要望 (A)	2024年度 内定配分 (B)	2025年度 概算要望 (C)	対前年 増減額 (C-B)	対前年 配分比 (C/B)	主な要望事業 【●：新規事業 / ○：継続事業】
社会資本整備総合交付金等	13,240	11,818	12,529	710	106%	
国土交通省	8,546	7,122	9,249	2,127	130%	
道路・街路交通調査	22	22	43	21	195%	○道央都市圏PT調査／○全国道路・街路交通情勢調査
道路事業	1,609	1,066	1,960	894	184%	○橋りょう長寿命化修繕事業／○札幌北広島環状線 他
街路事業	987	700	1,221	521	174%	○電線共同溝整備事業／○JR札沼線連続立体交差事業 他
下水道事業	1,941	1,653	2,393	740	145%	○下水道施設の再構築 他
都市公園事業	840	840	1,008	168	120%	●公園の官民連携推進事業／○都市公園ストック再編事業 他
公営住宅事業	2,434	2,128	2,273	144	107%	○公営住宅建替事業／○光星団地改善事業 他
土地区画整理事業	75	75	145	70	194%	○篠路駅東口土地区画整理事業
水道事業	564	564	60	▲504	11%	○豊平川水道水源水質保全事業
バリアフリー環境整備促進事業	74	74	146	72	198%	○公共施設バリアフリー化促進事業 他
環境省	4,695	4,696	3,280	▲1,416	70%	
環境衛生事業	4,695	4,696	3,280	▲1,416	70%	○駒岡清掃工場更新事業、○白石破碎工場更新事業
防災・安全交付金	7,987	5,455	10,199	4,744	187%	
国土交通省	7,987	5,455	10,199	4,744	187%	
道路事業	2,800	746	3,104	2,358	416%	○交通安全施設等整備事業／○建設機械整備(更新) 他
街路事業	1,260	1,060	1,260	200	119%	○屯田・茨戸通／○環状通 他
河川事業	301	301	301	0	100%	○総合流域防災事業／○伏籠川流域貯留浸透事業 他
下水道事業	2,481	2,247	3,902	1,655	174%	○下水道施設の再構築 他
都市公園事業	410	410	492	82	120%	○公園施設長寿命化対策支援事業 他
公営住宅事業	674	632	1,076	444	170%	○公営住宅外部改修事業／○公営住宅EV更新工事
住宅・建築物安全ストック形成事業	56	56	61	5	109%	○民間建築物耐震化促進事業 他
水道事業	5	3	4	0	108%	○水道施設耐震化事業
開発予算 合計	21,227	17,273	22,728	5,455	132%	(単位：百万円)

	2024年度 本要望 (A)	2024年度 内定配分 (B)	2025年度 概算要望 (C)	対前年 増減額 (C-B)	対前年 配分比 (C/B)	主な要望事業 [●：新規事業 / ○：継続事業]
社会資本整備総合交付金等	4,620	3,125	8,204	5,079	263%	
国土交通省	4,620	3,125	8,204	5,079	263%	
道路事業	85	7	187	180	2,597%	○市道の改築事業（山本小野津幌川沿線 他）
土地区画整理事業	114	63	93	31	149%	○篠路駅東口土地区画整理事業
市街地再開発事業	3,716	2,480	6,020	3,540	243%	○北5西1・2地区 / ○北4西3地区 / ○大通西4南地区
都市・地域交通戦略推進事業	638	511	1,113	602	218%	○新たな公共交通システムの導入に係る社会実験 他
国際競争拠点都市整備事業	68	65	791	726	1,218%	○北5西2地区バスターミナル整備
防災・安全交付金	3,655	1,410	3,573	2,163	253%	
国土交通省	3,655	1,410	3,573	2,163	253%	
道路事業	3,634	1,394	3,534	2,140	254%	○除雪事業 / ○防雪事業 / ○建設機械整備(増強)
盛土・宅地防災事業	21	16	39	23	243%	○変動予測調査事業 / ●既存盛土等調査事業 他
開発予算以外 合計	8,276	4,535	11,777	7,243	260%	(単位：百万円)

総計	29,503	21,808	34,505	12,697	158%
開発予算 合計	21,227	17,273	22,728	5,455	132%
開発予算以外 合計	8,276	4,535	11,777	7,243	260%



要望区分	2025年度 概算要望 (百万円)	関係要望先						環境省	関連事業 掲載ページ
		国土交通省							
		北海道局	都市局	道路局	住宅局	水管理・ 国土保全局			
道路・街路交通調査	開 43	●	●					P.7	
道路事業	開 5,064	●		●				P.6, 7, 9, 10, 11, 13	
	社 3,721			●				P.10	
街路事業	開 2,481	●	●					P.6, 7, 9, 11, 13	
河川事業	開 301	●				●		P.10, 13	
下水道事業	開 6,295	●				●		P.8, 10, 11, 13	
環境衛生事業	開 3,280	●					●	P.5, 8, 13	
都市公園事業	開 1,500	●	●					P.8, 13	
公営住宅事業	開 3,349	●			●			P.10, 13	
住宅・建築物安全対策形成事業	開 61	●			●			P.10	
土地区画整理事業	開 145	●	●					P.9, 13	
	社 93		●					P.9, 13	
水道事業	開 64	●				●		P.11, 13	
バリアフリー環境整備促進事業	開 146	●			●			P.9	
市街地再開発事業	社 6,020		●		●			P.4, 6, 13	
都市・地域交通戦略推進事業	社 1,113		●					P.5, 6	
盛土・宅地防災事業	社 39		●					P.10	
国際競争拠点都市整備事業	社 791		●					P.4	

開：項) 北海道開発事業費

社：項) 社会資本総合整備事業費